



2022年6月27日

各 位

会 社 名 株式会社 小糸製作所
代 表 者 名 取締役社長 加藤充明
(コード番号 7276 東証プライム)
問 合 せ 先 取締役常務執行役員総務部長 井上敦
(TEL 03-3443-7111)

米国・セプトン社とのLiDAR開発における 協業関係強化に関するお知らせ

－ 新たな短距離・長距離用LiDARの共同開発について合意 －

当社は、先進運転支援システム(ADAS)や自動運転への対応として開発中の車載用LiDARに関し、Cepton, Inc. (以下「セプトン社」といいます。本社：米国カリフォルニア州)との協業関係を強化することに合意いたしましたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 協業関係強化の背景及び理由

当社は、次世代モビリティへの対応として、ADAS搭載車・自動運転車向けLiDARの開発に取り組んでおり、2017年にセプトン社と中距離用LiDARの共同開発を開始いたしました。以降、2020年2月セプトン社株式取得、2022年2月追加出資など、関係を強化し、協業を推進、2023年には中距離用LiDARを実用化する見通しであります。

当社は、ADAS搭載車・自動運転車(レベル3以上)の技術的進展・普及において、より高精度で、近傍から遠方までを検知可能なLiDARの必要性が高まっていることから、このたびセプトン社と新たに短距離・長距離用LiDARの共同開発をすることに合意いたしました。

当社は、次世代モビリティ社会の安全・安心に貢献するとともに、さまざまな顧客ニーズに的確に対応し、車載用並びに車載用以外にも対応できるLiDARのグローバルサプライヤーとして、センサ事業の拡大を目指してまいります。

2. 今後の見通し

本件による、2023年3月期業績への影響は軽微であります。なお、セプトン社は、連結子会社、持分法適用会社には該当しません。

以 上

＜ご参考＞セプトン社の LiDAR 技術について

今後の ADAS 搭載車や自動運転車においては、遠方の車両や落下物等 対象物の位置や距離を正確に捉え、高度な状況判断を行う必要があります。LiDAR、カメラ、ミリ波レーダ等 各種センサのうち、LiDAR は、高精度に位置や距離を測定可能なセンサの一つとして期待されております。

LiDAR は、赤外線レーザを極短時間発光し、対象物からの反射光を受光する時に、発光から受光までの時間から距離を計測するセンサです。また、上記レーザを上下/左右にスキャン(走査)させることで、広範囲の対象物の位置と距離を正確に把握することができます。

このレーザのスキャン方法は、各社 LiDAR の性能を左右する最も大きな技術要素ですが、自動車部品に求められる高い信頼性の実現が課題となっております。セプトン社はこのスキャン方法に画期的な独自技術を採用しています。従来のモーターによる回転ミラー式とは異なり、機械的な摩耗部が無く長寿命、且つ、耐久性に優れたシンプルな構造であるため、自動車部品に求められる高い信頼性、量産性、コストの両立が可能となります。また、検知距離、角度分解能といった性能バランスが秀でていることから、2023 年の販売開始に向けた協業を進めてまいりました。

今後、当社の自動車部品の製品設計、量産化技術と、セプトン社の先進 LiDAR 技術を組み合わせ、ADAS 搭載車や自動運転車向け製品開発を更に推進するとともに、スマート交通インフラ等 車載用以外の目的への製品開発も積極的に進めてまいります。

セプトン社 ウェブサイト
<https://www.cepton.com/>